

### 「昭島市産業まつり」に出展しました。

11月9日（土）、10日（日）の2日間、昭島市主催「昭島市産業まつり」がKOTORIホール（昭島市民会館）前で行われました。

多摩職業能力開発センターでは、工作教室や生徒作品を展示し、沢山の方にご来場いただきました。



工作のあと、電気工事科の作品で夢中になる子どもたち

### 「企業説明会」を実施しました。

令和元年11月20日（水）、当センター（西立川）において、配管工、施工管理、技術営業の職種に求人をいただいた企業の説明会を実施し、建築設備科と住宅リフォーム科の生徒14名が参加しました。

求人票は随時受け付けております。お申し込みをお待ちしております。（就職支援推進員）



# 都立多摩職業能力開発センター NEWS LETTER

## 今号の紙面

- 第1面 生徒製作の「門松」を都庁に設置します。
- 第2面 企業アンケートを実施しました。/ 技能祭 / 藤村が行く!
- 第3面 経営者インタビュー⑧(松村園芸株式会社 取締役総務部長 松村 京美氏)
- 第4面 「昭島市産業まつり」に出展しました。/ 「企業説明会」を実施しました。/ 「多摩ものづくり見学会」を実施しました。



## 生徒製作の「門松」を都庁に設置します。

今年度も、当センター庭園施工管理科生徒が製作した「門松」を、都庁に設置します。設置場所は、①第一本庁舎1階「東京観光情報センター」前、②第一本庁舎2階正面口、③都議会議事堂2階正面口の3箇所です。12月20日（金）から展示していますので、都庁へ出掛けられる際は、是非、お立ち寄りください。



## チャーターバスで工場へ 職業訓練 & 工場見学 「多摩ものづくり見学会」を実施しました。

NEW



訪問企業で社長の説明に聴き入る参加者

令和元年11月29日（金）、当センター（西立川）において、高校生の保護者や教職員、ものづくりに興味のある方などを対象に、ものづくりの魅力をさせていただくため、「多摩ものづくり見学会」を実施しました。

当センターの調理科で試食を体験、職業訓練の様子を見学した後、チャーターバスで金属加工業の企業へ移動しました。訪問した企業では、社長の説明を聴き、工場内部を見学しました。

## 門松 ができるまで

1日目 藁を束ねて



2日目 竹を磨き



竹を切り



3日目 組み立て



↑ 昨年度に都庁第一本庁舎に展示した門松

## 庭園施工管理科 の紹介

### ◆ 訓練内容 ◆

植物の生理や繁殖、病虫害、土壌肥料などの植物管理に関することや竹垣、つくばい、移植などの造園施工に関することなどを学び、造園業に必要な基礎知識と技能を習得します。おおむね50歳以上を対象とした6か月コースです。



### ◆ 取得できる受験資格 ◆

2級造園技能検定  
(修了時実務経験免除)

## お問い合わせ

○都立多摩職業能力開発センター（西立川）  
042-500-8700（代）

たましょくぎょう

検索



○都立多摩職業能力開発センター八王子校  
042-622-8201（代）

たましょくぎょう八王子

検索



○都立多摩職業能力開発センター府中校  
042-367-8201（代）

たましょくぎょう府中

検索



★ たまねじくんは、「多摩」とものづくりの「ネジ」からなる、多摩職業能力開発センターのイメージキャラクター♥「ネジ」だけに、「技能と人」、「人と仕事」をガッチリとつなぎます！。★たまねじくんは商標登録しています。

イメージキャラクター



令和元(2019)年12月20日発行  
都立多摩職業能力開発センター  
人材育成課 技能担当  
電話 042-500-8700(代)

東京都では、就職の機会均等を確保するために、本人の適性と能力に基づく公正な採用選考を実施するよう事業主の皆様のご理解とご協力をお願いしています。詳細は、<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/kaizen/kosei/> をご覧ください。

## 人材育成及び確保に関する 企業アンケート を実施しました。

当センターでは、中小企業の皆様の人材育成、人材確保を支援する様々な事業を展開しております。企業の皆様からのニーズを的確に把握するため、「人材育成及び確保に関するアンケート」を実施いたしました。お忙しい中、99社の企業にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。回答結果の一部をご紹介します。

ご回答いただいた内容は、各事業の今後の取組に活かしてまいります。

### 多摩地域の中小企業500社

【有効回答数】 99社  
【実施時期】 令和元年10月

#### 業種（上位3業種）

①製造業 54%  
②サービス業 12%  
③卸売小売業 12%

#### 従業員数（上位3区分）

①51~100人 25%  
②31~40人 23%  
③30人以下 22%

### Q 人材の過不足感は？

①著しく不足 12社  
②やや不足 59社  
③適正 22社  
④やや過剰 5社  
⑤過剰 1社

### Q 従業員の定着のために、労働条件（給与、労働時間や休暇等）の整備以外で、重要と考えることは？（複数回答） ※回答が20社以上あったもの

①新人や若手を育成・指導できる人材教育と体制整備	53社
②モチベーションアップの仕組みづくり	47社
③コミュニケーション能力の向上	42社
④職務内容やキャリアに応じた技能向上や 知識習得のための研修実施	40社
⑤社会人としての基本的な姿勢やマナーの会得	38社
⑥社員間コミュニケーションの場づくり	35社
⑦経験やノウハウを含む熟練技能者の技能継承	29社
⑧育成プラン・キャリアマップの作成	27社
⑨技能評価制度との連動した人事評価制度や給与体系の整備	26社
⑩経営者・管理監督者の意識改革 やマネジメント力向上のための研修実施	25社
⑪資格取得や自己研鑽に対する支援	22社

### Q 従業員の教育・人材育成の現状について

#### 1 課題は？（上位5項目）

①育成体制の強化 55社  
②指導者の確保 47社  
③社員のモチベーションアップ 42社  
④育成のノウハウ 37社  
⑤研修時間・場所の確保 32社

#### 2 貴社での取り組みは？（上位4項目）

①OJTなど業務を通じて適宜実施 60社  
②社外の研修・セミナー 42社  
③内部講師による社内研修 34社  
④外部講師による社内研修 29社

### 技能祭

昭島商工会が

### 「たまねじくん」のおやき

を限定販売しました。

精密加工科生徒が製作した「たまねじくん」の「焼きごて」を使用して刻印した「おやき」を、10月26日（土）に開催した当センター（西立川）技能祭限定で昭島市商工会が販売しました。

「可愛くて、美味しい！」と大好評で、350個があったという間に完売でした。



↑たまねじくん焼印おやき

たまねじくん焼きごては、精密加工科の生徒が作成しました！コレ！

### 人材アドバイザー 藤村が行く！

人材育成のための研修についてのご相談に  
応じております。

例えば、講師派遣型社内研修（現場訓練育成事業）は企業の要望（カリキュラム、研修時間、開催日等）に合わせた研修ができ、費用の半額を東京都が負担いたしますので、専門講師の研修を安価で受講できます。

御社でも企画してみませんか。

#### 人材アドバイザーとは

中小企業の従業員のスキルアップや、センター・各校で職業訓練を受けている生徒への求人について、企業訪問を行い、皆様のご要望、ご相談に応じております。

TEL 042-500-8700



藤村です。  
私が訪問いたします。

## 経営者インタビュー⑧

### ～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介します。

第8回目となる今回は、松村園芸株式会社 取締役総務部長 松村 京美 氏に登場いただきました。

#### 松村園芸株式会社

所在地：東京都東久留米市幸町3-4-2

開業：昭和35年4月

事業内容：維持管理工事、庭園工事、  
屋上・壁面工事、緑化（植栽）工事、  
公園工事、診断・治療、調査・設計

従業員数：20名

会社HP：<https://matsumura-engei.com/index.html>



Q1 （修了生に限らず）採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

技能や経験よりも、人柄や印象で、お客様とのコミュニケーションがスムーズにいきそうか、きちんとお話ができそうかを見ています。他の人とのコミュニケーションがうまくいかないと、辞めてしまう確率も高くなるようです。

Q2 社員の職場定着のために、どのような工夫をされていますか。

また、どのようなご苦労がありますか。

早く一人前に仕事ができるように、積極的に、早めに、現場を持ってもらっています。ちょっと覚えたくらいでは、尻込みしてしまう場合もあるでしょうが、技術は後からついてくるので、1つの公園全体を担当したいなど、先々を見据えた思い（目標）を持って挑戦してほしいです。

また、長く働いている社員は時間より仕事を優先し、新しい社員は時間を優先する傾向があるので、その間に価値観の違いがあり、「働き方改革」の流れもあって、折り合いをつけるのに苦労しているところです。

Q3 職業訓練を受けて、実際に貴社で働いている修了生はどのような感じですか。

職業訓練を受けてから入社すると、経験者同様、この仕事についてのイメージがあるので、ミスマッチが起こりにくいです。この分野の経験が全くないと、自宅でのガーデニングをイメージしがちで、肉体労働であったり、天候に左右される屋外作業であったりというリアルな感覚を持つことが難しいです。修了生は、そのような感覚を既に持っていて、この仕事に対する覚悟のようなものがあります。

Q4 職業訓練に期待することはどのようなことですか。

知識も必要ですが、先生や友達とのコミュニケーション、人との繋がりを大切にすることを学んでほしいです。挨拶や連絡などの「報・連・相」の基礎の所を身に付けてほしいです。

Q5 職業訓練を外部にもっとアピールするために、何かお考えはありますか。

庭園、造園関係の科目については、単なる「庭師」とは違うということを伝えた方が良いと思います。例えば、樹木の種類や植え方によって、環境を良くすることに役立ったり、防火に役立ったりしています。「環境問題や災害対策に貢献する」などとアピールすれば、もっと関心を持ってもらえるのではないのでしょうか。

松村取締役総務部長、ありがとうございました！